

高松市中心市街地活性化基本計画【概要版】

基本計画における中心市街地活性化事業の実施箇所



| 市街地の整備改善 | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1 | 高松市大工町・扇屋町地区第一種市街地再開発事業 |
| 2 | 高松海岸線街路事業 |
| 3 | 玉藻公園整備事業 |
| 4 | 高松港港湾環境整備事業（玉藻地区） |
| 5 | 高松城跡整備事業 |
| 6 | 新県立体育館整備事業 |
| 7 | バリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業 |
| 都市福祉施設の整備 | |
| 6 | 新県立体育館整備事業【再掲】 |
| 8 | 高松丸亀町子育て支援施設整備事業 |
| 9 | 高松市常盤町地区優良建築物等整備事業【再掲】 |
| 10 | 地域子育て支援拠点事業 |
| 11 | 病児・病後児保育事業 |
| 街なか居住の推進 | |
| 1 | 高松市大工町・扇屋町地区第一種市街地再開発事業【再掲】 |
| 9 | 高松市常盤町地区優良建築物等整備事業【再掲】 |
| 12 | 移住・定住促進事業 |
| 13 | フラット35活用事業 |
| 経済活力の向上 | |
| 1 | 高松市大工町・扇屋町地区第一種市街地再開発事業【再掲】 |
| 8 | 高松丸亀町子育て支援施設整備事業【再掲】 |
| 14 | 大工町ものづくり育成店舗整備事業 |
| 15 | 第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定 |
| 16 | 大工町立体駐車場整備事業 |
| 17 | 高松市中央商店街空き店舗活用事業 |
| 18 | 中心市街地商店街活性化支援事業 |
| 19 | 創造支援センター運営事業 |
| 20 | 障がい者就業支援促進事業 |
| 21 | 高松市生涯学習センター運営事業 |
| 22 | 高松市美術館教育普及事業 |
| 23 | 高松市美術館展覧会事業 |
| 24 | 市民文化祭アーツフェスタたかまつ |
| 25 | サンポートホール高松自主事業 |
| 26 | 新春子どもフェスティバル |
| 27 | 高松まちかど漫遊帖事業 |
| 28 | まちなかパフォーマンス事業 |
| 29 | サンポート高松トライアスロン大会開催事業 |
| 30 | 高松市協働企画提案事業 |
| 31 | 高松市美術館催し物事業 |
| 32 | 高松国際ピアノコンクール |
| 33 | ユニバーサルデザインマップ作成・運用事業 |
| 34 | たかまつ工芸ウィーク |
| 35 | ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭） |
| 36 | 高松市創業支援等事業 |
| 37 | 高松丸亀町商店街情報発信事業 |
| 38 | 高松駅周辺開発事業 |
| 39 | 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業 |
| 40 | まちの駅「smile's」運営事業 |
| 41 | 商店街共同施設整備事業 |
| 42 | 丸亀町商店街イベント事業 |
| 43 | 香川県県民ホール文化事業 |
| 44 | 香川県立ミュージアム文化事業 |
| 49 | 高松南部3町商店街活性化拠点運営支援事業 |
| 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進 | |
| 45 | レンタサイクル事業 |
| 46 | まちなかループバス運行事業 |
| 47 | 自転車等駐車場施設管理運営事業 |
| 48 | 有料自転車等駐車場管理事業 |

中心市街地の現状

本市では、平成 25 年 6 月に第 2 期中心市街地活性化基本計画を策定し、「にぎわい・回遊性・豊かな暮らしのあるまちを目指して」をコンセプトに中心市街地の活性化に取り組んできました。

未実施の事業もあったことから、目標指標として掲げた「中央商店街の空き店舗率（全フロア）」等の 3 つの指標は、いずれも、目標値の達成には至りませんでした。

計画期間と計画対象区域

【計画期間】

2019 年 7 月から 2025 年 3 月（5 年 9 ヶ月）

【計画対象区域】

立地適正化計画の広域都市機能誘導区域内に設定するものとし、交通結節点機能を担うサンポート高松とことぞん瓦町駅を含み、高松港から中央通り沿いに集積する高次（広域）都市サービス機能を有する施設を包括する約 250ha を中心市街地活性化基本計画区域とします。



中心市街地活性化基本計画区域:約 250ha

地域住民のニーズ等の把握

■ 中心市街地を訪れる機会を増やすための必要な施設

訪れる機会を増やすには、「アリーナ・体育館」「観光案内所」「ファミリー向け店舗・屋内遊具等」の充実が望まれています。

■ 中心市街地の居住意向

中心市街地への居住は、「住み替えを考えている」は 3.5%ですが、時期や家賃など条件はあるものの住みたいと考える人は 33.5%と多く、街なか居住に関心を持っています。

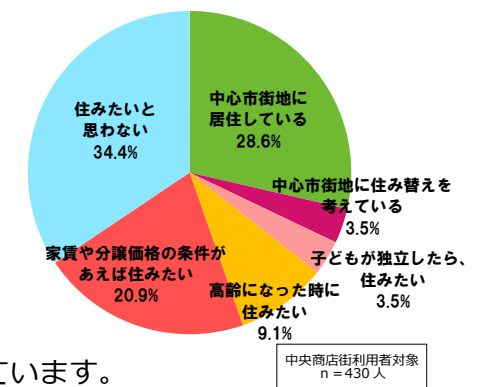
■ 中心市街地への居住促進のニーズ

中心市街地への居住を促進するため、「空き家バンク、新築等の住宅情報提供」「住宅購入時の利子軽減など購入助成」などの取組が求められています。

■ 観光客（外国人含む）の満足度向上を図る取組

観光客などの受入環境整備として、「観光案内所」「公共交通の案内」「外国語表記の案内標識」「無料の Wi-Fi スポットの充実」が求められています。

問：中心市街地に居住することについて、どのように思いますか。



第2期計画の事業実施状況・目標指標の達成状況

第 2 期計画（平成 25 年 6 月～平成 30 年 3 月）においては、51 事業を掲載しており、そのうち、完了済みが 11 事業、実施中が 29 事業、未完了が 8 事業で、未着手が 3 事業となりました。

目標達成状況を把握するため、3 つの指標で目標値を設定していましたが、いずれも目標を達成することができませんでした。

| 目標指標 | 基準値 (H24) | 目標値 (H29) | 実績値 (H29) | 達成状況 |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|------|
| 中央商店街の空き店舗率（全フロア） | 16.6% | 14.9% | 17.8% | 未達成 |
| 中央商店街における歩行者通行量（休日） | 131,878 人 | 141,000 人 | 118,567 人 | 未達成 |
| 市全体の人口に対する中心市街地の居住人口の割合 | 4.8% | 5.1% | 4.8% | 未達成 |

目指す中心市街地の都市像

高松市は、四国の中枢管理都市として、また、環瀬戸内海周辺に広がる圏域の中核拠点都市として、高次（広域）都市サービス機能を集積するとともに、インバウンドも含めた広域圏からの誘客を行い、回遊性・滞在性の向上によるにぎわいの創出や街なか居住の推進を図ります。

各種事業が相乗効果を生み、広がるよう、みんなが来たい・住みたい・楽しめるまちを目指し、下記に掲げるコンセプトに基づき、中心市街地の活性化に取り組みます。

来まい・住まい・楽しみまい
- コンパクト・エコシティ たかまつ -

中心市街地活性化の基本方針と目標

« 基本方針 »

« 目標 »

みんなが訪れたい中心市街地

1 サポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上

交流結節拠点の機能を有するサポートエリアにおいて、高次（広域）都市サービス機能を充実し、人々が集い、交流できる場を提供することで、広域圏からの誘客を図ります。

みんなが巡ってみたい中心市街地

2 中心市街地の魅力発信による回遊性の向上

中央商店街の魅力向上や効果的な情報発信を図ることにより、サポートエリアに訪れた人々を商店街へ取り込み、回遊・滞在性の向上を図ります。

みんなが豊かな人生を実現できる中心市街地

3 拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上

市内の各拠点から中心市街地へのアクセス機能の強化を図ることにより、移動利便性を高め、来街機会の創出を行い、市内流動を活発にすることに加え、住環境の整備を進めることで、地域価値の向上とコンパクトシティの形成を図ります。

目標指標と目標値の設定

| 【目標1】 | 【目標指標1】 | 基準値 | 目標値 |
|---------------------------------------|------------------------|---------------------|-----------------|
| サポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上 | エリア内の主要観光施設年間入込客数※1 | 2,744 千人/年 (H30) | 2,890 千人/年 (R6) |
| 【目標2】 中心市街地の魅力発信による回遊性の向上 | 【目標指標2】 歩行者等通行量※2 | 92,639 人/日 (H29) | 97,721 人/日 (R6) |
| | 【目標指標3】 新規出店数 | 216 店舗 (H26～H30 累計) | 271 店舗 (第3期累計) |
| 【目標3】 拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上 | 【目標指標4】 中心市街地の社会動態 | 886 人 (H26～H30 累計) | 1,373 人 (第3期累計) |
| | 【参考指標】 ことでん3駅の乗降客※3 | 31,751 人/日 (H29) | 32,057 人/日 (R6) |

※1 中心市街地エリア内の主要観光施設4箇所（高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアム）で計測

※2 中央商店街の15地点での自動計測（カメラ画像解析）

※3 高松築港駅、片原町駅、瓦町駅で計測

基本計画における主要事業

1 サポートエリアにおける高次（広域）都市サービス機能の充実による誘客力の向上

6 新香川県立体育館整備事業

サポートエリアにおいて国際大会・全国大会が開催でき、生涯スポーツ活動やイベント、MICE利用も図れる香川の魅力・活力を創出する新県立体育館を整備し、広域圏からの誘客を図ります。

38 高松駅周辺開発事業

交通結節点であるJR高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ります。

35 ART SETOUCHI(瀬戸内国際芸術祭)

3年に一度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、開催年以外の年もイベント等により、瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を行うことで、国内外から多くの誘客を図ります。



ART SETOUCHI

2 中心市街地の魅力発信による回遊性の向上

8 高松丸亀町子育て支援施設整備事業

中心市街地の再開発ビルに子育て支援施設を整備し、NPO法人により運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備し、回遊性向上につなげます。

14 大工町ものづくり育成店舗整備事業

県外や海外から訪れる観光客に、香川伝統産業など、ものづくりをアピールすることで広域からの来訪者の商店街への取り込みを図り、回遊性向上につなげます。



39 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業

観光客や来訪者に対する情報提供・発信や、隣接している4町パティオの有効活用を検討するなど、商店街の利用促進と回遊性を高めます

36 高松市創業支援等事業

高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携し、創業希望者等に対し、創業塾やセミナー等の開催、個別相談、その他効果的な支援を行い、創業件数の増加や創業機運の醸成を図り、回遊性向上につなげます。

3 拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上

1 高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業

医療・福祉施設と一体的な都市型住宅に、商店街等の客用の立体駐車場を整備し、街なか居住の生活利便性向上と商店街の利用を促進します。



磨屋町街区



大工町街区

9 高松市常磐町地区優良建築物等整備事業

診療所などを含んだ共同住宅を整備することで、街なか居住を促進します。

10 地域子育て支援拠点事業

子育て家庭等に対する交流の場の提供や、子育て相談、講習などを実施することで交流人口の増加、地域価値の向上を図ります。

13 フラット35活用事業

立地適正化計画で定める中心市街地を包含する居住誘導区域の外から、区域内へ住み替えた世帯に、住宅の建築・購入等費用の一部助成及び金利の低減を行うことで、街なか居住を促進します。